

- *本日はペンテコステ。イエス・キリストのよみがえりの後50日目に弟子たちの上に聖霊が降った日。その様子は使徒の働き2章に詳しく記されている。ペテロは、この劇的な出来事は預言者ヨエルによって数百年も前に預言されていたことであり、キリストの十字架とよみがえりによって今、聖霊の降臨が現実のものとなったことを明らかにした。その日に3千人がバプテスマを受けたことにより、ペンテコステは教会の誕生日とされる。
- *イエス・キリストはご自身でも聖霊の降臨を預言された。「わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたと、ともにおられるためにです。その方は、真理の御霊です。世はその方を受け入れることができません。世はその方を見もせず、知りもしないからです。しかし、あなたがたはその方を知っています。その方はあなたがたとともに住み、あなたがたのうちにおられるからです。」(ヨハネ14:16~17) 聖霊は三位一体の神である。「御霊」「真理の御霊」など色々な言葉で呼ばれるが、主イエスは「もうひとりの助け主」という呼び方で紹介された。
- *「助け主」は原語では「そばに呼ばれた者」という意味。それは弟子たちを守り、助けるために、である。イエスは、間もなくこの世を離れるがまた戻ってくると約束された。世の終わりの再臨のことを言っておられるが、その時まで私の代わりに私以外のもう一人の「助け主」が来て、あなたがたとともにずっといる、と弟子たちを安心させられた。聖霊は、私たちに正しい道に導き、父なる神の御前でとりなし、戒め、慰め、励ます方である。
- *聖霊の特別な働きは、私たちにイエス・キリストと結びつけることである。私たちにイエスの話されたこと、行われたことをすべて思い出させてくださる方である。(ヨハネ14:26、15:26参照) それだけではなく、聖霊はイエスのことばをなお深く理解させてくださり、その言葉に従って私たちの生き方を導いてくださるのである。イエス・キリストを信じて告白し、バプテスマを受けた者はすべて聖霊が与えられると約束されている。(使徒2:38) 聖霊に心から感謝をささげたい。